



# 成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16年度会長 K.R. ラビンドラン

## 第 2706 回例会 平成 28 年 6 月 10 日(金)

◇ 出席奨励・退会防止委員長 平山 秀樹 委員長

前月の出席率は73.5%でした。その前の数ヶ月の出席率が60%代に落ち混んでいるというご指摘をいただいております。なんとしても、今年度内に出席奨励会員拡大委員会を開き、対策を考えたいと思います。

◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

◇ ロータリーソング 奉仕の理想

◇ 四つのテスト

◇ お客様

成田空港株式会社 代表取締役社長 夏目 誠 様  
秘書室 山本 一平 様

米山記念奨学生 シ イーチェン さん

◇ ニコニコボックス

神崎 誠 会員:奉仕プロジェクト委員会社会奉仕担当の創立 55 周年記念チャリティーコンサートが、会員皆様の協力で盛況に終了いたしました。感謝申し上げます。



石橋 菊太郎 会員:日曜日のチャリティーコンサートの時、MCをやっていた部長の中村君が、打ち合わせの時に食べた菊屋の鰻がとても美味しかったとステージ上で言ってくれました。それと、6月7日の日経新聞の夕刊で、成田山門前町の鰻という特集記事で菊屋を褒めてくれました。地元の間人として、成田の経済をどんどん持ち上げていきたいと思っております。



平山 秀樹 会員:先月行われましたロータリー国際大会に参加させていただきました。大会の開かれたソウルの街がロータリアンで溢れていました。街角ではフィリピンから来たロータリアンに道を聞かれました。電車に乗っているとルーマニアのロータリアンに登録の方法を聞かれました。道に迷った時は、愛知県の半田南ロータリー

クラブの方に教えていただきました。K.R. ラビンドラン RI 会長のお話は大変すばらしかったです。中でも、ロータリーの医療援助で、ルワンダでボランティアをされた時のお話が印象的でした。普通の「助手」として手術のお手伝い



を一日されたそうです。仕事を終えて仮設の病院から出てくると、多くの子供達、お母さん達に囲まれたそうです。その方々は、ロータリーの援助によってルワンダでは受けられない心臓手術によって命を救われたと、ラビンドラン会長に深く感謝を伝えたそうです。大会では、「世界でよいことをしよう」というロータリー財団百年史が販売されていて、日本語版を購入してきました。1917年にアーチ・クランフさんという当時のRI会長がアトランタ大会で提唱されたのが発祥なので、来年2017年のアトランタ大会は百周年になるそうです。本の内容は別の機会に紹介したいと思いますが、



ロータリーがいかにか「世界でよいこと」をしてきたかが明瞭に書かれています。また、ロータリーの本当の強さが個々のクラブの活動にあることもわかりました。残念なのは、一人で行ってしまったことです。帰国してから、何人かの会員から「声をかけてくれればよかったのに」と言われました。次回同じような機会があればぜひ広く声がけして多数の方で行きたいと思います。

**佐瀬 和年 会長：**チャリティーコンサートの成功に感謝いたします。多くのお客様からお褒めの言葉を戴きました。

◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

6月5日、日曜日の『世代をつなぐ』チャリティーコンサートでは大変お世話になりました。「大成功だね」「楽しかった」素晴らしいお褒めの言葉を数多くお寄せ戴きました。



コンサートの終了後、初老の夫婦に声を掛けられ、「昔を思い出して涙がこぼれました、ありがとうございます。」と、素晴らしい笑顔を戴きました。そのご夫妻の言葉と微笑みで『癒されました。』感謝。

昨日今日と、常磐湯本で一泊二日の会長幹事会総括が行われました。早めの朝食を済ませ、例会に間に合うように駆けつけて参りました。

毎度の事ながら、深堀幹事の統率力に感服しながら、任せっきりの「二人三脚」で今日に至った感があります。人は、一人では何も成就する事は出来ません。consensus コンセンサスを得られる、仲間と一緒に歩いて行く事が何より重要です。その仲間が多ければ多いほど偉業が出来るのです。私にとって深堀幹事は、そういう存在です。

◇ 委員会報告

・クラブ広報委員会

甲田 直弘 委員長

先週できませんでしたので、今年度の総括をさせていただきます。

○メディア協議会

今年度については9月、1月、5月と年3回実施致しました。や



はりメディアの方々が欲している事と我々が伝えて欲しい事をマッチさせる事の難しさを痛感した一年でした。

但し、これを積み重ねる事によりメディアの方々との繋がりをより太い物とする事が大切なのではないのでしょうか。

メディア協議会は他のクラブには無く成田ロータリークラブ独自のものです。今後どのような形であれ、続いてほしい企画だと思えます。

○ロータリーの友紹介

当初は輪番制で紹介しておりましたが、諸事情で特定の人のみで紹介する結果となりました。

○スマホ専用ホームページ作成

今年度、実施してみたい気持ちはありましたが、費用が高額という事もあり様子を見ておりましたが最終的に見送ることに致しました。将来的には実現したい案件ではございません。

・なりた環境ネットワーク 出向者 小宮山 四郎 会員

6月28日火曜日、第1回空港周辺道路美化活動が行われます。成田国際文化会館で9時15分発式です。出欠名簿を回しておりますのでご協力よろしくお願いたします。また当日は、ロータリークラブのジャンパー持参でお願い致します。

・次年度クラブ運営委員会 矢島 紀昭 委員長

例会終了後、ひばりの間で委員会を行います。事前にFAXを流しておりますので、該当される委員の方は出席よろしくお願致します。

・次年度親睦 諸岡 正徳 リーダー

テーブルの上に10月8日～10日の沖縄親睦旅行の資料をお配りしております。7月15日金曜日締め切りです。

・次年度出席奨励、会員増強 角田 幸弘 リーダー

次週、例会終了後委員会を行います。

◇ 幹事報告 深堀 伸之 幹事

《回覧》

- ・例会変更 富里ロータリークラブ
- ・週報 多古、印西ロータリークラブ
- ・「平成28年熊本地震」への義援金の再度のお願い
- ・佐倉ロータリークラブ2016-17年度幹事変更

《連絡》

- ・各種出席表
- ・55周年記念集合写真をボックスに入れてあります。

## 《幹事総括》

### 深堀 伸之 幹事

各委員長から丁寧なご報告がありましたので言うことはありませんが、55周年チャリティーコンサートでは神崎委員長、矢島実行委員長、佐藤社会奉仕リーダー、設楽サブリーダー、記録係をやっていただきました堀口会員、沢山の会員の方にご協力いただきました。大盛況で終わったことをご報告させていただきます。熊本の震災もおき、二度に亘るチケット購入のお願いとなってしまいました。その後、チケットが売れると、次は当日観客を動員できるのかと心配になりました。しかし、皆様、一人一人のお声がけでたくさんの方（600人を越すお客様）に、来ていただき大成功だったと思います。その他にもモンゴル支援、記念パーティー、色々大きな行事を年度の後半に行い、皆様のご協力を得て大成功であったと皆様に感謝いたします。本年のターゲットは分かり合える仲間を増やしていこう、と会長が掲げました。これに関しては多くの行事、旅行、事業を通じて深まったのではないかと理解いたします。幹事としては、会長の補佐役ですが、先ほど会長からお褒めの言葉をいただき、どうにか幹事の役目を果たせたのかなと思っています。最後に、分区の会長幹事会で八街ロータリークラブさんから50周年記念式典の時に多数の会員に出席いただき有難く、きちんと色々な事ができる成田クラブさんのようになりたいとおっしゃっていただきました。そして過分なお祝いをいただいてありがとうございました、と皆さんにお伝えくださいということでしたのでご報告いたします。



### ・米山記念奨学生

### シ イーチェン（千葉大学大学院）

先週は素晴らしい55周年チャリティーコンサートに参加させていただきましたありがとうございます。先週の土曜日は米山奨学生のセミナーに行ってきました。先輩の卓話や、就活について色々な経験、アドバイスをいただきとても感謝しています。そして、みんなの悩み、例会出席のことなど色々話を聞きました。大変勉強になりました。これからもよろしく願いいたします。



## ◇ 卓話

### 2016-18年度 NAAグループ中期経営計画

## イノベティブ Narita 2018

### ～世界最高水準の空港を目指して～

### 成田国際空港 代表取締役 夏目 誠 様

この度、NAAグループでは、2016～2018年度の3か年中期経営計画「イノベティブ Narita2018～世界最高水準の空港を目指して～」を策定いたしましたので、本日はそのご説明をさせていただきます。

初めに、前中期経営計画の総括です。当社グループが3年前に発表しました、2013～2015年度中期経営計画「イノベティブ Narita2015」では、この3年間を、オープンスカイを迎え「お





客さまから選ばれる空港」を目指す期間と位置づけ、空港処理能力 30 万回化、空港入場ゲートのノンストップ化、第 3 旅客ターミナルオープン、最大で 1 年間着陸料を無料とする成田ハブ化促進インセンティブの導入等を行ってまいりました。2016 年夏ダイヤにおいては総発着回数、国際線発着回数、就航都市数が過去最高を更新しましたが、これまでの取り組みが花開いた成果であると考えております。



また、キャッシュフロー重視の経営を追求し、経営効率化などにより、財務の健全性向上にも取り組み、NAA グループの総力を挙げて環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら各種施策を推進して参りました。

経営目標等としては連結 ROA 4.2%以上、連結長期債務残高 5,200 億円以下、連結長期債務残高／連結営業 CF 倍率 8.0 倍以下、航空取扱量目標として航空機発着回数 26 万回、航空旅客数 3,700 万人、空港内免税店・物販店・飲食店の売上高 800 億円を目指すこととしていました。

これらの経営目標等につきましては、アジア-北米間の直行便増加などの環境変化や、LCC の国際線展開が想定よりも遅れたこと等により 23.5 万回に留まった航空機発着回数を除き、全て達成することができました。これも地域の皆様のご理解とご支援の賜物であり、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

続いて、当社グループを取り巻く、経営環境の認識についてです。世界の航空需要は、アジア太平洋、中南米、中東といった新興経済国を中心に、今後も更なる拡大が見込まれております。世界の航空旅客輸送量予測において、アジアは今後 20 年で、年間 6.5%の伸び率を示しており、世界の航空旅客輸送量の成長を引き続き牽引する見込みでございます。また、政府は国家戦略の一つとして観光を基幹産業へ成長させるとして、観光先進国の実現を強力に推進すべく、新たに訪日外国人旅行者数を 2020 年に 4,000 万人、さらに 2030 年には 6,000 万人を目指すという目標を掲げました。成田空港においても、訪日ビザの免除・要件緩和、消費税免税制度の拡充、為替の円安基調等を背景に、2014 年度下期ごろから特にアジア方面からのお客様が大幅に増加しております。

こうした旺盛な航空需要を背景に、アジアの主要空港では処理能力向上に向けたプロジェクトが進行中です。これらの主要空港は、年間発着回数では 60 万から 70 万回、年間取扱旅客数では 1 億人という極めて大きな処理能力を将来計画として掲げ、それに向けて 2017 年から 2019 年にかけてターミナルビルや滑走路などの施設整備を予定しております。こうした動向からも、今後、国際空港間における路線獲得競争が更に激化すると予想しております。

アジアの成長を背景とした訪日外国人旅客の更なる増加を背景に、我が国の首都圏航空需要は引き続き増大すると予想されています。国土交通省の航空需要予測によると、概ね 2020 年代には、首都圏空港の計画処理能力は限界に達する見込みです。成田空港としては我が国そして首都圏の国際競争力の強化や、増加する訪日外国人への対応の観点から更なる機能強化が求められております。

これらの認識のもと、新しい 3 か年の取り組み、中期経営計画を策定したものであります。

我々は、空港間競争が激化するなか競争力を高め、アジアのリーディングエアポートとしての地位を確固たるものとしていくため、成田空港が今後 3 ヶ年において目指すべき、ふたつの具体的な空港像を設定しました。

ひとつ目は、空港としての安全性とサービス品質を徹底的に追求することで、『お客さまに世界最高水準と評される「高品質」な空港』を目指すということです。

ふたつ目は、空港としての機能を強化し、航空会社のニーズに応えていくことで、航空

ネットワークの拡充を図るとともに、成田空港の持続的成長、発展に向けて、更なる機能強化に取り組むことで、『アジアでトップクラスの国際拠点空港としての地位の維持・強化』を目指して参ります。

本中期経営計画の位置づけをご説明いたします。

先程申し上げましたとおり、今後、アジアの航空需要の拡大に伴い、訪日外国人旅客数も更に増加することが予想されております。こうした中、2020年にはスポーツ・文化の祭典であるオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。NAAでは、これからの2016年度から2018年度の3カ年を「アジア主要空港に対する成田空港の競争力を高め、更なる飛躍に向けた準備を着実に進めるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を安全・円滑に迎えるために準備を徹底する期間」と位置づけました。

そして、先ほどの目指す空港像を実現すべく、5つの戦略方針を立てました。

まず、全てに最優先されるものとして「世界最高水準の安全性と安定運用の徹底追求」、次に、空港競争力の基盤である「空港機能の強化と地域との共生・共栄」、競争力の重要な柱であります「航空ネットワークの徹底強化」、そして、真に選ばれる空港となるための「世界最高水準のサービス品質や魅力ある商業空間の創出によるお客さま満足度の徹底追求」、最後に持続的な健全経営のための「企業グループとしての経営体力と競争力の強化」の5点でございます。

さらに、それぞれの戦略方針について、具体的な取り組みと我々が向かう方向性や目指す水準を戦略目標として掲げました。

時間の関係で取り組みの詳細については、省略させていただきますが、旅客ターミナルのお客様用トイレのリニューアルやご搭乗までの時間をリラックスしてお過ごしいただくためのバリエーションに富んだシートを導入する等お客様サービスを充実させる他、最先端ICTを活用した「スマート・エアポート」の実現を図ることにより、お客様利便性・快適性を更に向上させ、「世界最高水準のサービス品質や魅力ある商業空間の創出によるお客さま満足度の徹底追求」に取り組んでまいります。

以上、2016～2018年度NAAグループ中期経営計画「イノベティブN a r i t a 2018」をご説明させていただきました。

今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。



## ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

### 出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
61	60	37	23	61.67%	88.33%

### MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
佐瀬 和年、諸岡 靖彦、堀口 路加 各会員	6月10日	地区フェアウェルパーティー
諸岡 靖彦 会員	6月11日	次年度地区委員長会議

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700  
成田ビューホテル内  
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル  
電話 0476-32-1111

例会日 金曜日 12:30

6 例会出欠連絡先(直通)

電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078